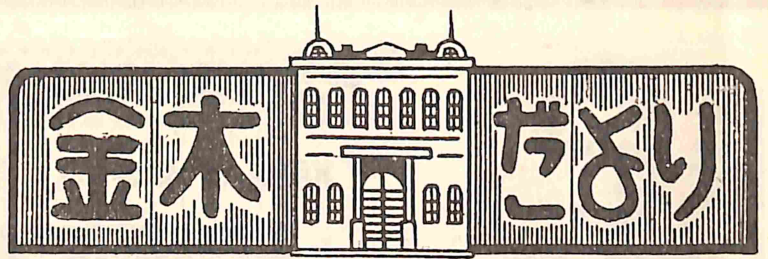


町の人口と世帯数

人口 { 男 7,352
女 7,503
計 14,855
世帯数 3,601

(S49.3.31現在)



発行 青森県金木町役場 編集 企画室



「芦野のさくらまつり」

ひと眼千両
自慢のさくら
夢の芦野湖
花の幕

老いも若きも
手に手をとって
恋のボートにや
誰と乗る

さくらまつり行事日程表

- 4月28日(日)
- 西北五中学校卓球大会
 - 馬力大会
 - 西北五中学校テニス大会
 - 茶道遠洲流野点
 - ブラスバンド及鼓笛隊パレード
 - さくらまつり開会式
 - 無形文化財大会
- 29日(月)
- 青森県土佐大斗技大会
 - 西北五中学校選抜野球大会
 - 県下ミス校コンテスト
 - 小型建設機械展示会
 - 西北五洋裁学院ファッションショー
- 30日(火)
- 防犯少年野球大会
 - 慰霊大会
 - 西北五農協婦人部芸能大会
- 5月1日(水)
- 西北五中学校ソフトボール大会
 - 小型建設機械展示会
 - 慰霊大祭前夜祭
- 2日(木)
- 県下銃剣道大会
 - 老人クラブ体育大会
 - レインジャー部隊実技
 - 民謡と手踊り(鶴谷初太郎一行)
- 3日(金)
- 消防団観閲式
 - 県下短歌大会
 - 斎藤又四郎民謡ショー
 - 花火大会
- 4日(土)
- 社会人野球大会
 - 花火大会
- 5日(日)
- スポーツ少年団体育大会
 - 民謡と手踊り(三上キナ一行)

会期中

- ボート、貸ゴザあり
- 無料湯茶サービス
- 見世物興行開催
- 金木名産品即売会

◎ 「さくら」を題材とした

「写真コンテスト」開催

5月10日

観光協会事務局

金木町長・町議補欠選挙

期待も大きい

青年町長 大橋氏

町議に 高橋、古川、沢田の3氏



(新町長 大橋忠勝氏)

金木町長は、この四月十八日をもって任期満了となり、また町議会議員に三名の欠員を生じているため、さる三月二十一日、金木町長選挙および、町議会議員の補欠選が同時に行なわれました。

選挙は、元金木町助役中村健司元金木高校教諭大橋忠勝、生花生産販売業楠美孝夫の三人によって争われ、これからの町行政に対する関心と、理事者にかかる期待も大きく、伯仲した熱戦がくりひろげられ、結果は僅か十二票の差で大橋忠勝氏が当選しました。

また、町議会議員の補欠選挙は米谷甚九郎(喜良市)山中清市(嘉瀬)古川哲雄(喜良市)高橋元弥(金木)三上玉江(喜良市)沢田由男(嘉瀬)の六人が立候補し激戦のすえ、高橋元弥、古川哲雄、沢田由男の三氏が当選しました。



(沢田由男氏)



(古川哲雄氏)



(高橋元弥氏)



(真剣なまなざしのお母さん方)



(人さし指の誓いは!)

春の交通安全

「白鳥クラブ」

結成される

—金木幼稚園が音頭をとって—

春の交通安全にちなんで、金木幼稚園(園長片岡八千雄)では、園児と母親を対象にした「白鳥ク

ラブ」を結成した。このクラブでは、園児に対し、三本指の誓い(「ほく、わたし」)「かならず」「止まります」を行ない、日常生活の中から交通安全教育を身につけることを目的としている。

幼児の交通事故は増加の一途をたどり、その事故防止が大きな課題となっている。保護者がよく注意していれば大部分の幼児事故は防げるだけに、このクラブに対し大きな期待がよせられている。

交通安全の 手を上げて

おじいさん おばあさん

四月二日、老人クラブ(会長 田中勇吉)では交通安全指導隊やおばあさんの協力を得て、交通安全教室を行なった。この日は、風が強いいため、「憩いの家」の中で信号機を使用して実技指導を行なったが、おじいさん・おばあさんも一生懸命になって、日ごろから守られてない交通规则の勉強をしていた。



(そこのおばあさんも渡りませんか)



(熱心に聞き入る おばあさん)

役場の執務時間が
変わりました

(四月一日から十月三十一日まで)

平日 八時十五分から

土曜日 八時十五分から正午まで

現ニューヨーク
住 藤元嘉嗣氏
故津島文治氏

3月1日 称号を授与

故津島文治氏

町では、金木町名誉市民条例の規定に基づいて、金木町名誉市民として故津島文治氏と現在米国ニューヨークに在住の藤元嘉嗣氏を決定し、昨年十二月十五日招集の町議会定例会において、全員一致で名誉市民の称号を贈ることの同意を得ました。

この称号の授与(伝達)式は、さる三月一日、金木町役場三階大会議室において、関係者多数が列席し、盛大におこなわれました。口名誉市民の略歴と実績



(津島文治氏遺族の賢輔氏が代理受賞者)



(藤元嘉嗣氏 親族の洋子さんが代理受賞者)

明治三十一年一月二十日当町金木に生まれ、大正十二年に早稲田大学政治経済学科を卒業し、大正十四年には金木町長として就任しました。爾来県議会議員および県知事を歴任し、さらには衆議院議員ならびに参議院議員を歴任しました。また衆議院議員在職中の昭和三十五年には外務政務次官、同三十七年には農林政務次官に就任しています。

なお、昭和四十八年には勲一等瑞宝章を受けています。

48年度

金木町褒賞授与式

63名褒賞される

町では、金木町褒賞規則に基づいて、二月二十一日褒賞審査会を執行ない審査の結果、三月一日正午より町役場においてつぎの褒賞を贈りました。



自治功労褒賞

- ◎通算十二年以上の町議会議員
田中勇吉(18) 今久米雄(18) 野宮雄造(18) 木村不二男(14) 中谷正(14) 沢田茂(14) 木村金利(14) 古川竹夫(14)
- ◎通算十二年以上の農業委員
外崎栄(13) 沢田由男(13) 櫛引政雄(19) 沢田茂(16)
- ◎永年勤続の町職員
藤田要造(24) 西村節男(22) 小田桐昇(22) 角田三治雄(22) 工藤栄(21) 今金蔵(22) 沢田密雄(21) 白川常一(20) 土岐いき(20) 小野四郎(25) 西沢小市郎(退職) 田中実(26) 石戸谷由雄(26) 山中徳一(27) 須崎由美(27) 今由吉(27) 津島賢造(25) 大橋隆治(25) 今平内(25) 伊藤文雄(31) 伊丸岡貢(36) 桑田哲男(17) 野宮正三(18) 中村吉永(16) ※()内は通算勤務年数
- ◎特別功労褒賞
◎通算十二年以上の行政協力委員
中谷敏雄(12) 楠美留三郎(15)

- ◎通算三十年以上の消防団員
木村不二男(31) 白川竹治(32) 成田弥十郎(32) 泉谷一実(31) 対馬要治(34) 工藤繁一(30) 加藤卓爾(34) 平川次郎(34) 吉崎新一(35) 荒閑純輔(38) 岩間清美(36) 吉田米五郎(35) 鳴海為之助(36) 藤元清(35) 三上政雄(43) 太田治(41)
- ◎その他の特別功労褒賞受賞者
木村兼作(交通安全運動立看板用資材二十万円相当の寄贈や交通安全講習会等の開催に施設や資材の提供により、地域交通安全対策に寄与された功績)
西村徳雄(昭和四十二年金木地区交通指導隊発足以来、金木中隊長として隊を指揮し、交通事故の防止に寄与された功績)
今英三(損保会の寄贈に献身的な努力をほらい、また、永年在靑金木会の役員として、郷土金木との文化交流に寄与された功績)
田中助一(相撲選手の指導養成にあたり、昭和十四、十五年の全国青年相撲大会で連続優勝に導いた功績)
金木ロータリークラブ(交通指導隊車購入費として二十万円、大東ヶ丘分校に机、金木老人クラブに座ぶとん、芦野公園にくずかご等を寄与された功績)
善行褒賞
木村米八(戦後二十八年間、無報酬でスキー場・神社境内・遊園地等の公共地の除草や清掃をおこなってきた善行は他の模範とする事蹟)
佐々木勇(昭和二十九年以降、大東ヶ丘分校に対し、図書・衣料・靴・カバン等通学用品を贈り続ける等、辺地校の教育振興に寄与された功績)

堆肥づくりを知事賞

金、銀、銅賞も

詩田 沢部

(知事賞) (銀賞)
(金賞) 桑元

3 良質米生産組合へ

近年、稲作の栽培管理は粗放化の傾向にあり、地方の維持増進に欠くことのできない堆肥のもととなる稲わらを全く無視し、処理に難じて徒に焼却してしまう農家が多くなり、そして煙公害にまでいたっている現況です。

稲作は年間一〇アール当り五〇〇kgの堆肥が必要であり、稲株および根などが年間二〇〇kg入ったとしても年間三〇〇kgの堆肥が毎年減少していることとなります。無堆肥稲作栽培は大体十四年か



十五年で土壌の無機化現象がおき化学肥料の効果もなくなり、耐冷および耐病性にも弱い稲作況があらわれます。

このようなことから県産米改善推進協議会(会長三橋又八)では一昨年から稲わら利用共励会を開催し、この対策の一助としていま

この共励会において、当町詩田良質米生産組合(組合長川口清衛)は昨年の金賞にひきつづき、知事賞および金賞の栄を獲得しまし

た。この榮譽を機とし、地域の農家も、一段と自給肥料の生産に力をそそがれ、また煙公害解消にも大きな効果とよこばれています。以下入賞成績はつきのとおりです。

昭和四十八年度

稲わら利用共励会入賞成績

知事賞 詩田良質米生産組合

金賞 (組合長川口清衛)

銀賞 沢部良質米生産組合

(組合長白川友道)

銅賞 桑元良質米生産組合

(組合長白川峯雄)

(組合長白川峯雄)

ねんきんコーナー

体の不自由な人はいませんか

障害福祉年金は、国民年金に加入していた間に病氣、けがをして身体障害者になつた人が、加入期間が短いために抛出制の障害年金はうけられないけれども、一定のかけ金を納めているとき、または二十歳になる前(あるいは昭和三十六年四月一日前)に病氣、けがをしたためにすでに身体障害者になつておられるときに支給されます。いままでは、この障害福祉年金の支給は、自分の身のまわりの整頓や食事もできないほど、日常生活に著しく支障がある重い障害(一級障害)の人に限り行なわれていたが、昨年の九月に行なわれた国民年金法の改正で、比較的軽い障害(二級障害)の人にも、障害福祉年金を支給することになりました。支給開始は、昭和四十九年四月から予定されています。

支給される額は、月五千元、昭和四十九年十月からは月額七千五百円となっています。皆さんの中で、二級障害に該当していたため、障害福祉年金をもらえなかった人はおりません。また、皆さんの家族の人やとなり近所に、体の不自由な人で障害福祉年金をもらっていない人がありましたら、遠慮なく町役場の年金係におたずねください。

6月は年金証書の提出時期です。お年寄りの皆さんや、心身障害者、夫に死別した母子家庭の人などで、福祉年金をうけている人は

毎年六月までに「国民年金証書」を年金係に提出していただくことになっていきます。

市町村役場では、国民年金証書と一緒に、福祉年金をうけている人を扶養している人の昭和四十八年度中の所得状況を県に報告しなす。

それにより県では、今年の五月から来年四月までの一年間の福祉年金がうけられるかどうかを決め支払金額を証書に記入することになっていきます。

もし、六月中に証書を提出しませんが、九月六日の支払日に間に合わなくなりますので、五月の支払をうけたらすぐ年金係に提出してください。

なお、福祉年金は、一定の所得のある人には支給されない仕組みになっていきますが、今年も、その制度が、かなりゆるめられる予定です。いままで、年金の支払いはとめられていた人でも今年からはもらえるようになるかもしれまさんので、証書は忘れずに提出してください。

四十八年度分の保険料の納めわすれはありませんか。

みなさんのなかで、国民年金の保険料をまだ納めていない人はありませんか。もし保険料を納められないばかりでなく、災害などにあった場合、障害・母子年金などももらえなくなりますので、心当たりのある方は、役場年金係まで

(季節のしおり)

緑ゆたかなこのごろ、家の小さな庭先にも、その緑の小さな生命を伸ばしはじめました。いとおしむのは今のうちです。雑草は、あまり強く根を張らないうちに取り除かないと始末におえなくなります。ひと雨降った翌日とか、露じめりの残った朝のうちが取りやすいのですが、とつたまま放っておくと、また根づいてしましますから、大きな紙袋かポリ袋を用意しておいて、取ったらさっさと入れて、跡始末もいっしょにすませましよう。

庭の草取りなどと簡単に思いますが、これがなかなかたいへんなことなのです。ふだんやりたくない仕事のせいかしやがんで指先だけに力がいいるため、あとで腰のあたりがだるくなり、何をやる気力も失います。

一案ですが、庭の草取りはいっぺんにやってみようとしてはいけません。毎日少しずつ取るように範囲を決めて進めて行くようにすると案外楽に取り除くことができます。

さて、庭の草取りをすませて縁側に腰をかけてながめてみますと、いつの間にか回りに土を盛り上げたアリの小さな穴の群れがみえてきました。

問合わせの上、すぐ納めてください。

商業統計調査

昭和49年5月1日

商業の未来は あなたの協力で
通商産業省

5月1日は

商業統計の

調査日です

通商産業省では、二年に一回、全国の商店を対象として商業統計調査を実施しており、そのたびごとに皆様の御協力をいただき厚くお礼申し上げます。この調査は、統計法に基づく指定統計調査であり、全国の商店をもれなく対象とするものであって、「商業についての国勢調査」ともいうべきものです。今年第十二回目の年に当たり、五月一日現在で調査を行ないます。

票の記入をお願いし、ご記入いただいた調査票二部をとりあつめますので、お忙しいところお手数ですが調査票の記入提出についてよろしく御協力くださるようお願いいたします。

なお、提出された調査票を統計以外の目的に、例えば徴税その他皆様方の不利益になることに使用されることは絶対ありません。得た秘密を他にもらすことは法律で固く禁じられており、営業上の秘密は厳守されていますから、正確に御報告してくださいるようお願いいたします。

技能検定試験の

お知らせ

今年も技能検定試験の申請受付期間が真近になりました。これは、職業訓練法に基づき、労働者の持っている技能を検定し、公証する制度で、技能労働者の技能水準の向上と共に、技能者に対する社会一般の評価を高め、地位の向上を図ろうとするものです。

技能検定は、一級の上級熟練者と二級の中級熟練者とに分かれており、それぞれの検定職種ごとに毎年一回、実技試験と学科試験を行ない、合格者には、一級は労働大臣、二級は県知事名の合格証書が交付され「技能士」の称号が与えられます。

この試験は前後期の二回に分かれており、今年の前期試験は、

- *実技試験 昭和四十九年六月三十日から昭和四十九年九月二十九日まで
- *学科試験 昭和四十九年九月二十二日から昭和四十九年九月二十九日まで

に行なわれます。

実施する職種は、造園、鋳造、機械加工、鉄工、板金、仕上げ、婦人子供服製造、木工機械調整、木工、とび、左官、ブロック建築、タイル張り、畳製作、熱絶縁旋工、印章彫刻、いす張り、表具、塗装、広告美術仕上げの二十種です。

検定試験申請書受付期間は、昭和四十九年五月七日から五月二十一日までです。また、申請書は最寄りの共同職業訓練校、組合等に配付してありますから、そちらから申込んで下さい。

なお、詳細については、県技能検定協会（〇一七七）三九一五五六一、または県職業訓練課（〇一七七）二二一一一一内線三八四にお問い合わせ下さい。



「ゆうゆうローン」の

ご利用を

「ゆうゆうローン」の愛称で親しまれている郵便貯金の貸しつけは、昨年の一月に誕生してからやっと満一年余りが過ぎました。

この一年余りの間に、約三百五十万人もの多くの方に、金額にして千五百億円のご利用をいただき、貯金を有利にふやしなが、気軽に借りられるおトクな制度として、みなさまから、たいへん好評をいただいています。

これからの時期は、一般に臨時収入が少なく、貯金する余裕も少ないのに反して、お子さまの進・入学資金や就職準備など出費のかさむご家庭も多いことと思います。

このような場合には「ゆうゆうローン」を上手に利用されれば、せつかくの貯金をおろさなくても、有利な利子を得ながら安心して計画的に資産づくりができますので、お気軽にご利用されるようおすすめします。



